

BRASS Online Store

横山裕 東京ドームでのトランペットデビューを迎えるまでの軌跡

# BRASS



# ジャニーズ初 トランペット 誕生

2014  
vol. 30  
WINTER

BTアーカイブ《スウィングガールズ・フィナーレ》 祝! SG10周年

# 楽器生活向上グッズ、試してみない? ～モニター楽器族、大募集～



「ブラストライブ」とは「BRASS (プラス=強引に「楽器」とひろく解釈)な「TRIBE (トライブ=つまりは種族)」です、だから「楽器族」なんです!…と、世の中の誰も今までいってなかったことをつぶやき始めて早くも7年の月日がたとうとしております。そしてそして、おかげさまで本誌も創刊以来30号を迎えることができました!これもひとえに読者の皆様ならびに関係各社様のご支援の賜物と、関係者一同伏して感謝します。そこで今回、楽器生活をより豊かにしてくれるグッズをお試しいただく「モニター企画」を考えました。関係各社のご協力で集まったのは、いずれもユニークな「練習支援グッズ」。どこにも真似できない機能が満載のものばかりです。当選した楽器族の皆さまにおかれましては、その使用感をレポートしていただければ幸いです。応募方法は下記の通り。ふるってご応募ください。

**A 野中貿易 タイガー**  
(協力:野中貿易)2名  
話題のプラスチック製トランペット。おもちゃみたいに見えるかもしれないけど、かなりマニアックなフィーチャーです。まずベルにはプラスチックのせにきちんとビード(縁)がある。実はこれ、吹奏感にも大きく影響するものなんです。また、マウスピース周にもさだかながらあります。周の間に「名作」と使える!と話題の「タイガー」ぜひお試しください!(全色展開)

**B ヤマハ サilent Brass**  
(協力:ヤマハ)1名  
ひさびさのブラスライフ!これまでの同種のものとはまったく違ったアイデアが盛り込まれた「名作」と、早くも第一線のプロフェッショナルのあいだで大評判。パーソナルスタジオに組み込まれた新開発の「プラス・レゾナンス・システム」は、まるでミュートをつけていないような感覚で練習することができる優れたシステム。さらに軽くなったピックアップミュートは、単体で消音ミュートとして使用しても効果的です。トランペット用

**C ローランド ヴォーカルトレーナー VT-12**  
(協力:ローランド)1名  
管楽器と声は切ってもぎれない関係。フレーズも、歌えるようにすれば吹ける。この練習法は、いまありません。このヴォーカルトレーナーは、ヴォーカルトレーナー。そう、ヴォーカルトレーナー。そう、ヴォーカルトレーナー。聞きながらの歌、確認できます。ぜひお試しください。その成果をレポートください(製品の色は現在3種類がリリースされていますが、どれになるかは編集部にお任せください。)

**D コルグ KR mini (協力:コルグ)1名**  
正確なリズムは、音楽の力の源。メトロノームが、単に正確なビートを出してくれるだけじゃなくて、正確な上にオアシシ仕掛けにあふれたオカズ(フィルイン)をふんだんにちりばめてサポートしてくれたら楽しいに…と、無理めな夢想をしている楽器族にぴったりのリズムマシン。正確なビートを刻みつつ、豊富なフィルインで楽器族を刺激してくれるのです。想像力にあふれた使い手、求む!

**E ブロウ・ザ・トランペット**  
(エリック・ミヤシロ)1名  
**F ブロウ・ザ・トロンボーン**  
(エリック・ミヤシロ)1名  
トランペット/トロンボーン版、それぞれが2巻の楽譜の基本奏法が学べる。デュエットの音楽。木幡光邦氏が監修、ドンペーラー氏も太鼓判を押した、間違いなく吹けるようになる教則本です。どちらのCD付で、ひとりでも、またふたりでも練習できる豊富なパターンは模範演奏トラック(デュオ)と、マイナス・ワン(パート1またはパート2抜き)トラックが用意されています。仲間同士と一緒に楽しく吹いてみよう。

**G ソウル/ファンク/フュージョン**  
スタンダード・ブック Vol.01 1名様  
**H ソウル/ファンク/ポップス**  
スタンダード・ソングブック Vol.01 1名様  
愛称は「赤本」「青本」。赤本は50曲、青本は全58曲を収録。特に楽器族におすすめなのが「青本」。「赤本」は主に弾き語りやヴォーカリスト向きに書かれていますが、こちらはインスト用。これまで「ありそでなかった」インストものの名曲がぎっしり!

**I エリック・ミヤシロ**  
(提供:編集部)1名  
エリック・ミヤシロ氏実際に加工したミュート(p.36-37参照)の紹介です。どちらかエリック氏に入門!どちらかエリック氏に入門!どちらかエリック氏に入門!

**《応募方法》**  
(1) はがきに住所・氏名・年齢・弊社から連絡可能なメールアドレス・希望のモニター品を記し、下記までお送りください。  
(2) 弊社 (brs@proscope.co.jp) から連絡可能なメールアドレスから「brs@proscope.co.jp」にて、住所・年齢・希望のモニター品を書いたメールをお送りください。  
〒113-0034 文京区湯島2-1-15  
サカエビル3階 株式会社プロスコープ  
メディア編集部  
「ブラストライブ」モニター係  
締切:2014年1月末日(当日消印有効)  
当選発表:2014年4月発売号ならびに同時期の本誌ウェブサイトにて発表。当選された方は記事にご登場いただく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

楽器族の練習曲集

楽しみながらうまくなる

# 最新版 《The Jazz 与力》 で「器用さ」を 身につける

木幡光邦(こはた・みつくに)、通称「923」  
「923」と書いて「クニゾ」と読む「923率いるビッグバンド」の「923率いるビッグバンド」  
70年オリジナル「The Jazz 与力」は、  
アマチュアビッグバンドの練習ととして最適だ

取材協力：東京ビッグバンド  
東京都港区赤坂6  
03-5563



INTRODUCING THE KINIZO BIG BAND  
INTRODUCING THE KINIZO BIG BAND  
指揮：THE KINIZO BIG BAND  
[Leader] 木幡光邦 (Trumpet)  
[Trumpet] 杉山誠浩

収録曲：近藤淳、寺尾敏通、佐藤達哉、  
竹野昌邦、丹羽康雄  
[Trombone] 佐藤春樹、巖和田道男、橋本健明、  
山崎孝子  
[Rhythm] 浅野和明 (piano)、神上賢 (bass)、  
平川康士 (drums)、村上成樹 (drums)  
収録曲：In a Mellow Tone  
[Duke Ellington/arr. Oliver Nelson]  
Take the A Train  
[Elly Stray/horn/arr.Gordon Goodwin]  
When I Fall in Love  
[Victor Young/arr. Gordon Goodwin]  
Hobo Flats/ (Oliver Nelson)  
Caravan (Duke Ellington/arr. 佐野昌邦)  
Sarcasm [ Matt Catingub ] ( 5:26 )  
C.T.A (Jimmy Heath/arr. 巖和田道男)  
Elephantman-Life (木幡光邦)  
Everything Must Change  
トム・クービス (Tom Kubis)  
The Jazz 与力 (木幡光邦)

「ラ」のみなさんと。「現  
っべて、義理の兄で代

表を務める和氣良克氏、ならび自の仲間で再結成した、が愛情です。  
かなり身内で固まっていますが(笑)。(ドンペイさん)



**Natural E (キング NKCD6649)**

収録曲：FRY STONE/GREEN POP/NATURAL  
E/EMERADA PAPAAYA SOURCE/STAY YOUNG/  
ZABATH C/CONFREE

演奏：兼崎銀一 (Trp. Fgh) 新田一部 (Trp) 早  
川隆章 (Trb) 瀧野繁雄 (Sax) 金城寛文 (SaxFl)  
笹路正徳 (KeyB.) 難波弘之 (KeyB.) 土方隆行 (Guit.)  
渡辺守男 (Bass) 伊藤広規 (Bass) 岡本敦男 (Drs.)  
北村健太 (Drs.) 山田亘 (Drs.) ベッカー (Perc.)  
山川恵子 (Harp) 佐久間正英 (MC 4 プログラム)  
音羽もんどり会 (コーラス)



パウル・ Hindemitt 著  
『新版 音楽家の基礎練習』  
(音楽之友社刊)



フリュゲルホルン (コーン) とトラン  
ペット (バック) を格納するケースは自  
家製の堅牢なもの

その本をさらったんです」  
基本的にドンペイさんはにこやかなのでなんとなく聞き流してしまいが、凄い。志ある楽器族はぜひ手に取ってほしい。それほど厚くないが、値段だけのことはある。そう、ドンペイさんがそういう理由が分かるはず。

**STAY YOUNG...  
別にこれ、そういう  
意味じゃないんだよ(笑)**

現在は地元のバンド「ABC (アールビーシー)」で音楽活動中のドンペイさん。ABCは2010年、東京の音楽家仲間の中にドンペイさん。ABCは2010年、東京の音楽家仲間の中にドンペイさん。ABCは2010年、東京の音楽家仲間の中にドンペイさん。

べて吹いているのが微笑ましい。確かにこのアレンジ、東京から車を飛ばしてでも吹いてみたい!と思わせるかっこよさだ。矢張りリズム隊は特に素晴らしい。取材時にはドラムはエキストラだったそうだが、実は地元の蕎麦屋のご主人。リハーサルが終わると「昼は手が足りないんで!」と急いで店に向かう。のんびりしたなかにも、このバンドは、音楽を学んでいるのか、わかる。かわか。ドンペイさん、このバンドは、音楽を学んでいるのか、わかる。

週暦を超えた今…  
「あ、そのタイトルね、あまり意味はないの(笑)。ほかの、ZABATH Cとかアルバムタイトルも、みんな菜の名前なんだ(笑)。  
なんと!?  
「いや、変な話聞いて(笑)。」「あ、そのタイトルね、あまり意味はないの(笑)。ほかの、ZABATH Cとかアルバムタイトルも、みんな菜の名前なんだ(笑)。  
なんと!?  
「いや、変な話聞いて(笑)。」「あ、そのタイトルね、あまり意味はないの(笑)。ほかの、ZABATH Cとかアルバムタイトルも、みんな菜の名前なんだ(笑)。  
なんと!?  
「いや、変な話聞いて(笑)。」「あ、そのタイトルね、あまり意味はないの(笑)。



地元音楽家仲間がドンペイさんのアレンジを楽しむ



「ジュニアバンドを作ろうかになって、みんなと話しているんです。(ドンペイさん)



地元のヒーロー「ともなくん」と2ショット…にはならず。子供多すぎw

# ミュートともっと なかよくなるう

できる楽器族は  
ミュートにもこだわる！  
本場アメリカのヴェテラン直伝  
マル秘改造テクニックを大公開



エリックさんと作業タイム開始！



まずは何の変哲もないワウワウミュートを用意



ベンチで調整部分の位置をい



ステムの端を切り直し、短い円筒をつくる

## 自分の責任でトライしよう

最初に言っておくけれど、ここで書くことは「効果絶大」ではあるけれど、工作が不器用な方はけがをするかもしれないし、ミュートそのものを破壊してしまうこともありうるかもしれない。そうなることを覚悟の上で…なんて書くとすごく気が重くなるけれど、仕方ない。これから話すことは、自分でよく納得したうえでやってもらわないとみんなが困ることになるからだ。

たかがミュートじゃないかって？  
いや、たかがミュートだからこそ、こだわるのだ。

本誌別項でエリック・ミヤシロ氏が語っているのは、ミュートともかくもっと仲良くなる、ということ（本誌p128～）。そのお話をもっとお聞きしたくて、このコーナーを作った。「いま自分の手持ちのミュートはそれぞれのタイプで5、6個はありますがそれぞれ時間や個性をそれぞれと認識して…、いくつかミュートではあるんですけど、これはか…つ…とはな…ア…はみ…自分で…やっ…とな…よ」

と、エリックさん。若き日（中学時代）からプロフェッショナルのなかでもまれてきた男は、当然だけどそういう細かいところもきっちりチェックしてきたのだ。そんな男がまず手にしたのは、ワウワウミュート。

「ワウワウ（ハーマン）ミュートって、たいいていの場合まんなかのステムの部分を外して使いますよね。で、たとえば誰でもこんな感じの音が出せるよう

にはなるんですけど…」

と、エリックさん。ステムをつけたままだと、金属的な響きがともなってやや明るく響くのだが、外して吹いてみるとパワーという響きになる。まさに「誰でもマイルス」な感じのだが、エリックさんは不満顔。

「これだけだと音が弱くて…」  
安…「…って…」  
こ…「…ま…」  
と…「…が…」  
した…「…な…」  
する…「…？」  
「これ…」

「これって…のつなぎ目の部分を…めるん…」  
ベルに挿入する円錐形の部分と、ステムが挿入される穴が装備されている円筒形の部分は金属同士を曲げてかみあわせる方式で接合されているのだが、その接合部分をまず、お互いがぐるぐる回る程度に緩める。完全に外してしまうとあとで復元するのが難しいので要注意。

「ぐるぐる回るようになると、よく鳴るようになるんです。がたがたになると雑音のもとになるので、その場合にはしめなおさばいいんです。表面が汚

くなってしまうのが難点ですが…」

自分で吹いて加減しながら好きな音色を探せる、という楽しさもありますね。

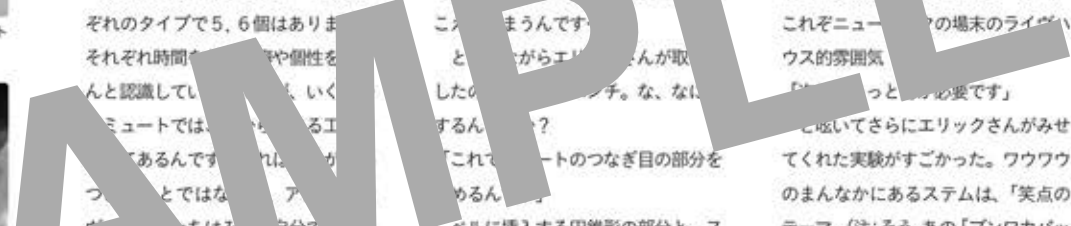
「ノイズにならないように…を付けてください」

そして…「…いただいた。わずか5分くらい…高域の倍音成分…おー、これぞニュー…の場末のライブ…ウスの雰囲気…」

「…って…必要です」  
と…「…にエリックさんがみせてくれた実験がすごかった。ワウワウのまんなかにあるステムは、「笑点のテーマ」（注：そう、あの「ブンワカバ…」です。原曲は《サムバディ・ストール・マイギヤル》）でもやらないかざりはいたいいみんな捨てちゃうんですけど、それはちょっと待って。

「捨てる前に、こんな実験を試してみればいいんです」

エリックさんの指示で、ステムの端から4センチくらいのところを糸のこでぎりぎり切り始めたが…これは…かなり…根気…が…いらいますね…。そう、たかがアルミ…とたかをくくっ





## 《北海道グループキャンプとは…》

2014年春、札幌芸術の森ではパークリー音楽大学の協力のもと、同校から6名の講師を招聘し、次代を担う若い世代を対象とするジャズセミナーを実施します。著名なミュージシャンを多数輩出しているパークリー音楽大学の指導法に沿ったレッスンを札幌で体験出来る貴重な機会です。個人レッスン、グループレッスン、

そして講師の貴重な体験談を全員で聴く全体講義(写真)など、講座もバラエティ豊かです。また、成績優秀者にはパークリー音楽大学で行われるサマースクールに奨学生として参加できる特別推薦状を授与します。是非、この機会にご参加下さい。

### 《概要》

●講座：2014年3月25日(火)～3月30日(日)【6日間】※3月24日(月)は休講日●クラス分けオーディション：2014年3月22日(土)・23日(日)

### 《会場》

札幌芸術の森アートホール(北海道札幌市南区芸術の森2丁目75)

### 《受講料》

●メインレッスン：50,000円 ※過去のパークリー賞受賞者は、受講料が半額で受講できます。●ビギナークラス：40,000円(新設)●特別個人レッスン：8,000円

### 《参加対象》

●原則として、2014年4月1日現在で、小学校1年生以上の方※楽器経験1年以上。もしくは、同等の演奏力の方

### 《受講希望対象》

●ビギナー(初心者)：ジャズ経験1年未満の方。限定20名(新設)●エレメンタリー(初級者)：コードやスケールの知識がなく、アドリブの経験が少ない。●インターミディエイト(中級者)：コードやスケールについてある程度の知識があり、ブルースなどの簡単なアドリブもできる。●アドバンスド(上級者)：高度なテクニックを持ち、ジャズ理論の知識もある。自分の個性を音楽で表現できる。

### 《申し込み締め切り》

2014年1月24日(金) 必着

### 《申込方法》

「サッポロシティジャズ」ホームページ内にある「北海道グループキャンプ申し込みフォーム」から直接お申込みください。あるいは申込書を右記事務局にご請求ください。

<http://sapporocityjazz.jp/groovecamp/>

### 《募集パート及び定員(予定)》

アルトサクソ(20名) テナーサクソ(20名) バリトンサクソ(10名) トロンボーン(20名) トランペット(20名) ピアノ(10名) ドラム(10名) サックス(10名) ヴォーカル(10名) ビギナークラス(20名) ※ビギナークラスは、アンサンブルの編成の都合上、人数の出演は未定です。

※定員に達し次第、募集を締め切ります。

### 《開講講座(予定)》

パート別楽器クリニック/イヤーレッスン/リズムトレーニング/アドリブ理論/アンサンブルレッスン(各講師とアンサンブルを組み、最終日にファイナルライブを行います)全体講義(講師・受講生が一堂に会する、全員参加型の講義。講師陣による体験談や映像だけでなく、演奏も交えながら、ジャズに対する理解を深めるクラス。最終日にはファイナルライブなどもあります)

### 《各賞》

●パークリー賞：キャンプ開催期間を通じて、特に優秀と認められた受講者に対し、2014年もしくは2015年の夏に、米国ボストンのパークリー音楽大学で実施の特別セミナー(5-week サマー・パフォーマンス・プログラム)に、フルスカラシップの奨学生として参加することができる特別推薦状の授与を行います。これまでに、寺久保エレナ等、現在活躍中のミュージシャンも受賞しております。(原則として15歳～18歳が対象。受講に際してお手紙は、基本的には受賞者ご本人に行ってください) ●グループキャンプ賞：キャンプ期間中、優秀と認められた受講者に対し、次年度の北海道グループキャンプに無料参加の資格が与えられます。

### 《その他》

●宿泊費：札幌市外からの受講希望者及び自宅からの受講が困難な方には、会場ホテル間の送迎バス付き宿泊プランの斡旋を予定しております。ご希望の方は、受講申し込み時にお申し出ください。(定山温泉地区のホテルで調整中) ●レッスン見学：アートホールの「アリーナ」と「大練習室」で行われるレッスンに限り、有料にてご見学頂きます。見学をご希望の方は、当日、受付に直接お申し出ください。

●見学科(1日)：大人2,000円、高校生以下1,000円 ●お申込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

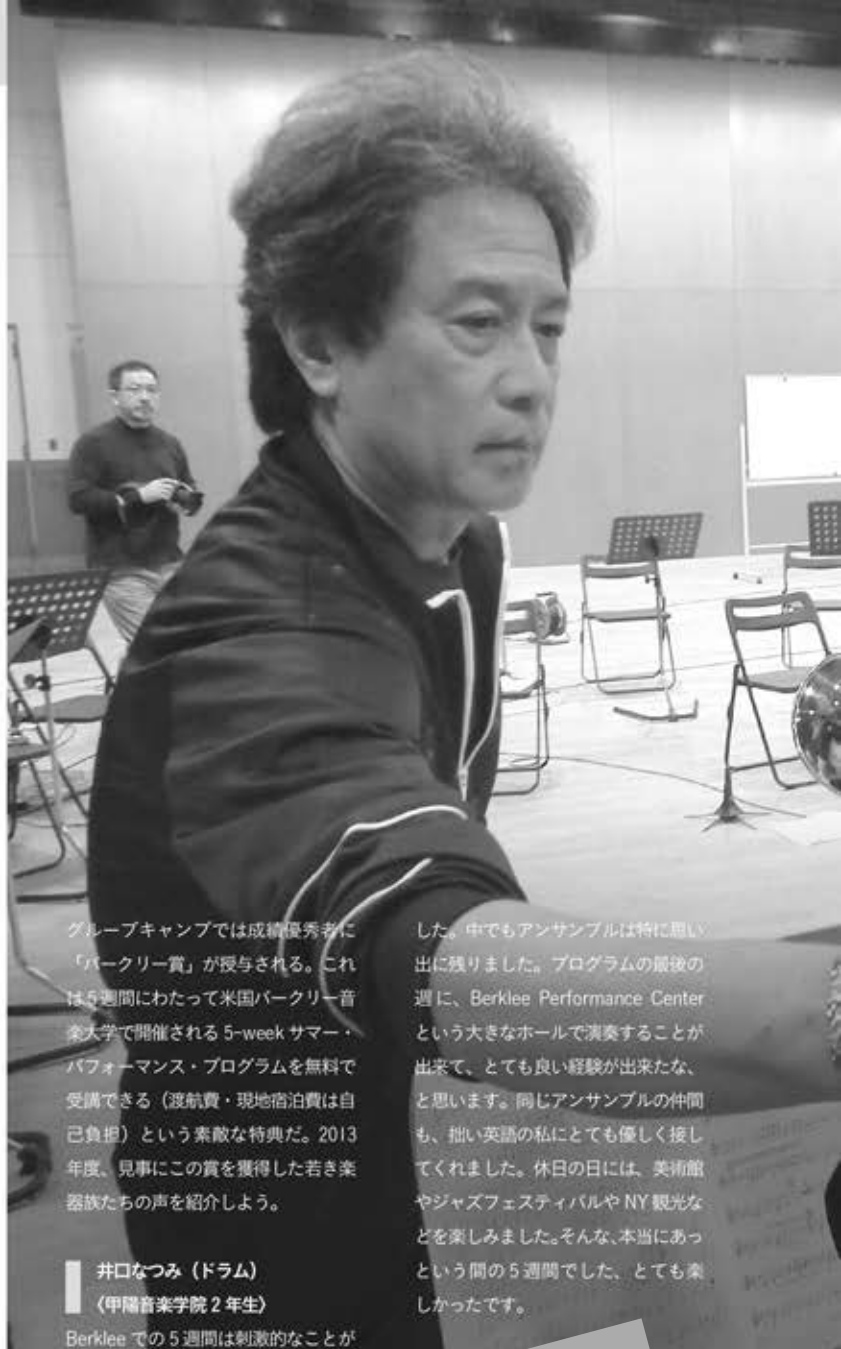
●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp

●お申し込み・お問い合わせ：北海道グループキャンプ事務局(札幌市南区芸術の森2丁目75) TEL:011-592-1111 FAX:011-592-1112 E-MAIL:groovecamp@sapporocityjazz.jp



グループキャンプでは成績優秀者に「パークリー賞」が授与される。これは5週間にわたって米国パークリー音楽大学で開催される5-week サマー・パフォーマンス・プログラムを無料で受講できる(渡航費・現地宿泊費は自己負担)という素敵な特典だ。2013年度、見事にこの賞を獲得した若き楽器族たちの声を紹介しよう。

### 井口なつみ(ドラム)

〈甲陽音楽学院2年生〉

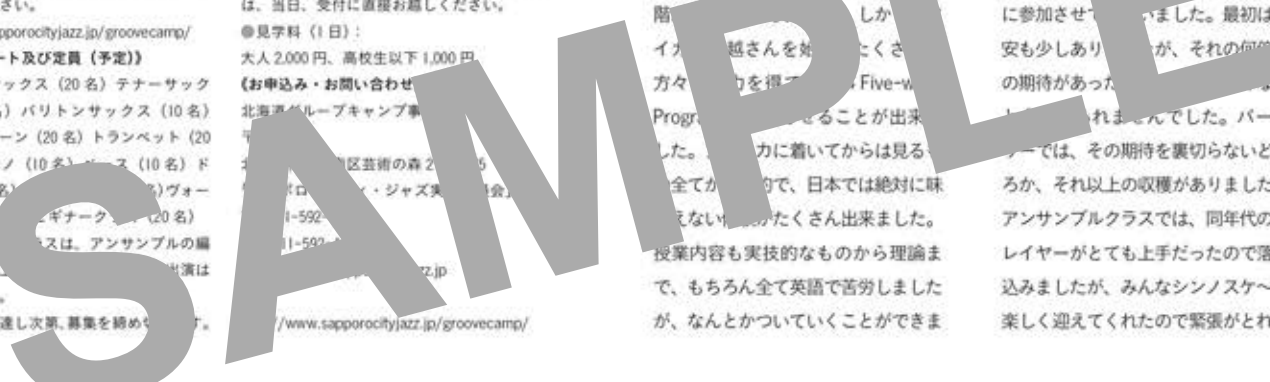
Berkleeでの5週間は刺激的なことが多過ぎて、今考えると、あっという間の時間でした。私自身、海外へ行くことが初めてだったので、準備も設備も、とにかく驚きでした。イカ、越さんを始め、たくさんの方々の力を借りて、Five-week Programで受講することが出来ました。アメリカに着いてからは見る所も全てが初めて、日本では絶対に味わえない面白さたくさん出来ました。授業内容も実技的なものから理論まで、もちろん全て英語で苦労しましたが、なんとかついていくことができた。

中々アンサンブルは特に思い出しに残りました。プログラムの最後の週に、Berklee Performance Centerという大きなホールで演奏することが出来て、とても良い経験が出来たな、と思います。同じアンサンブルの仲間も、拙い英語の私にとっても優しく接してくれました。休日の日には、美術館やジャズフェスティバルやNY観光などを楽しみました。そんな、本当にあっという間の5週間でした、とても楽しかったです。

### 松原(トサックス)

〈札幌市立校1年生〉

僕は、今回このプログラムに参加させてもらいました。最初は不安も少しありましたが、その何倍もの期待があったので、頑張りました。パークリーでは、その期待を裏切らないどころか、それ以上の収穫がありました。アンサンブルクラスでは、同年代のプレイヤーがとても上手だったので落ち込みましたが、みんなシンノスケ〜と楽しく迎えてくれたので緊張がとれま



# 音で絵を描いてみるんだ!

Hokkaido Groove Camp 2014

## 北海道グループキャンプ2014



# この楽器は 一体ナニ?!

沖至氏自作のダブルベル・トランペット



## アルバイトして楽器の 造り方を覚えたんだ

交通事故にあった直後の楽器みたいな  
にみえないこともないが、現代美術の  
作品にも見える（そう考えた方が絶対  
楽しい）。その楽器は、見かけとはち  
がって、ダブルベルのトランペットだ。  
終演後に、その楽器を好奇心一杯で見ていると  
「吹いてみたい」と思いつく。沖氏は「吹ける  
ら、その人は吹かせることに決めて  
られた。楽器作りの気持ちがあるのだ。  
「その人（沖氏）は、在籍のジャ  
ズトランペット奏者、沖至（おき・い  
たる）氏。この楽器は、沖至氏が自ら  
作り上げたダブルベルのトランペット  
なのだ。1941年生まれで、前衛ジャ  
ズの騎手として名高かった沖氏は早く  
に渡仏。若き日には日本ディキシー界  
の大師所南里文雄氏に薫陶を受けた  
ヴェテランで現在では日本が文字通り

世界に誇る「前衛」ジャズトランペッ  
ト奏者の一人。前衛ジャズの騎手とし  
て知られていた沖氏がディキシーの王  
者から「てほどきを受けた」とい  
は面白い。この楽器では「吹ける  
ももっとも歴史がある。トランペ  
奏者の上野の森フミ子（森清子）の  
「デュロス」のダブルベル・トラン  
ヴェアトランペット（本誌2013年  
10月号）で決まった。この日のセッション、打  
ち合わせ「なし」で始まった即興では  
両者とも「世界で一本の楽器」らしい、  
誰にも真似できない「美音」（あらゆる  
意味において）でスリリング（もち  
ろろそこには書道や俳句など、異種格  
闘技的な「なにか」が大きく影響して  
いたのだが）な時空間を編みあげたの  
である。沖氏はフランス有数の管楽器  
メーカーであるケノンでアルバイトを  
して楽器の作り方を覚えた。リヨンの

ご自宅には自ら組み立てた楽器を作る  
で美術館の展示品と並んで見られる  
しい。沖氏が取材に来たとき、沖氏  
ろう。沖氏「まるでグランドピアノ（浴  
時計の針が止まっている）のような  
管楽器の楽器がある、というから  
楽器族としてたまりません。写真の外  
ルベル・トランペットは小さなベル  
る向きになっている）が着脱可能  
で、収納は大きなスーツケースのなか  
に、布でくるんで無造作に（汗）。そ  
の小さなベルにはステムを外したワウ  
ワウミュートを差し、4本目のヴァル  
ヴを左手で操作して切り替える。この  
楽器に直接触れることができたこの日  
の楽器族たちは幸運だった。ただし  
いつも気分よく吹かしてくれる、なんて  
勘違いしないように。大人のマナーが  
守れない楽器族にはどうかならないで  
いただきたい、と切に願う。



2013年10月23日は曾我部清典氏（右）を交えたコラボ。「沖至 30days october revolution チーム沖 インスピレーション アート〜VOL.05 『flottant pour Orpheus』と題された一夜での出来事。出演は沖至 (tp)、曾我部清典 (tp)、新井陽子 (p)、ママ金時 (俳句パフォーマンス)、菊池マリ (画モデル・ハプナー)、山本祐歌 (画モデル・ハプナー) の各氏



興味津々の楽器族に気軽に試させる、太っ腹な巨匠。楽器族の気持ちがわかるんだ

# スコット・ロビンソン MARCATO に開眼



マルカートのポケットホルンを試すスコットさん

## キミの本にのってたアレが試したいんだ

本誌が発売になるのは2013年12月18日。ちょうどその前日に来日するマリア・シュナイダー・オーケストラの一員として、スコット・ロビンソンが来日。スコットさんは、数年前に「ラポラトリー」で「マッシュルーム・マッシュルーム」を演奏していた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。

が収録されているらしい。本誌でも「JAZZ HORN」(サクソ型のトランペット)やコントラバスサクソ、オクタヴィンなどを紹介させてくれた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。

ナー「ブラストライブ・オーケストラ」でも演奏している。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。スコットさんは「ラポラトリー」のメンバーとして活動していた。初めて取材させてくれた。



購入を検討しているすべてのポケットホルンを見てこれに決定



実はシモクラに入店したとたん、壁面の古楽器ディスプレイにくぎづけになってしまったのでした



さっそくライブで使ったよ、というメールに添付されていた写真がこれです



創立 50 周年の  
記念すべき年に

本当に東吹はよくなったね…と、マニアの間で言葉が交わされるようになって久しい。正直言って、創建時の志ははずこへ…といわざるをえないような状況もあったけれど、ここ数年の充実ぶりはおそらく創設者の山本正人氏も草葉の陰で目を細めていることだろう…などと悠てみたくなくらい、充実した気合いにあふれたプログラム、そしてサウンド。小手先の動員作戦などに頼らず「演奏家の基本はいい演奏をすること」という、シンプルにして重要なポイントを決して外さない「王道」ぶりが、この混迷の時代には逆に新鮮に感じられるほどだ。今回の50周年記念演奏会は、歴史を知るベテランたちが勢ぞろいした座談会や貴重な資料写真が掲載されたプロ

ラムも貴重だったが、なによりも「王道」を堂々と歩むかのようなプログラムが素晴らしいかった。

もともと「吹奏楽」というのは「管弦楽」「弦楽合奏」「弦楽四重奏」「器楽合奏」などの用語と同様に、単に「編成」を示す言葉だった。しかし、現在ではここでとりあげたすべての「編成を示す言葉」は「ジャンルを示す言葉」とイコールになってしまっている。器楽合奏という四文字からたとえばジャズのクインテットやカルテットを想像するひとはまずいないし、ましてや「これまであげたすべての編成は器楽合奏じゃないか」と突っ込みをいれるご仁も不在。たとえば管弦楽＝クラシック、器楽合奏＝小学校の教育音楽、みたいな「レッテル貼り」をした張本人は我々メディアに携わる側であることは間違いないのだから、せめて「吹奏楽」という、現代日本の中で唯一「音

楽産業」としてそこそこ活発に動いているらしい分野に対して、誠実な考察を続けていきたい…というのが本誌の切なる願いである。

そういう意味でも、他のあらゆる意

味でも、今回の東吹は素晴らしいかった。

まずは選曲。冒頭の《ファンファーレ・フォー・トーキョウ》。フィリップ・スパークへの委嘱作で、この日が世界初演。折から東京オリンピック開



《ローマの祭》では冒頭のファンファーレをこの位置で熱演

Brass Renaissance

# ブラス・ルネッサンスの

～ 東京吹奏楽団 50 周年に寄せて～

文：榎本孝一郎（本誌編集長） 取材協力：グローバル、管楽器専門店

東京吹奏楽団（愛称「東吹」）に陶酔…  
あまりにも言い古された率直な感想だが、  
本当に陶酔させられる演奏会は、高くなった  
しかも大演奏会ばかりでは、小編成によるさまざまなアプローチも…

SAMPLE

# ゲーマー向け 立上委員会 宣言音楽 言会楽

## その1

「ゲーム音楽好きな  
楽器族のための  
情報交換の場」として  
本誌を乗っ取る  
!!!!?



次期編集長  
(今?)おれ聞いてないよ! 櫻本 現・編集長

**市原雄亮** いちはら・ゆうすけ  
新潟県上越市出身。神奈川県横浜市在住。  
永遠の16歳を自称している。指揮者を  
名乗りながら様々な活動を行っているぞ。  
カレーと牡蠣が大好きだ。指揮者、  
K2 出版代表、株式会社GMストア取締役、  
一般社団法人日本BGM  
フィルハーモニー管弦楽団理事  
公式サイト  
市原雄亮とこむ <http://185usk.com/>  
Twitter @dirigent\_lyo

## 永遠の16歳が だしぬけに宣言する

皆さんこんにちは。自称指揮者のイチハラ(16)です。ブラストライブへの登場は実はこれで4回目になります。影が薄くてすみません。

過去の3回は私の行っている活動についてなど、色々と紹介させていただく内容だったのですが、今回は楽器族の皆さんに新しい提案をさせていただくという趣旨で、この記念すべきVol.30より連載させていただく運びとなりました。やったぜ。

今までコンピュータゲーム(以下ゲーム)で遊んだことがある方はどれくらいいるでしょうか。逆に、ゲームで全く遊んだことがないという方はいるでしょうか。触れたこともない方は恐らくゼロに等しいのではないのではないかと思います。

一昔前は、ゲームといえば専用の機械(ハード)とソフトを買い、テレビの前で遊ぶのが常識だったわけですが、今や皆さんお持ちの携帯電話、スマートフォンで当たり前のようにゲームが遊ばれていますから、ゲーム経験者の人口というのはものすごい数にのぼるはずですよ。

最近ではスマホ向けゲームの「パズル&ドラゴンズ」(通称「パズドラ」)が2,100万ダウンロードを達成したとのことですから(2013年11月29日現在)、日本に住んでいる人の実に6人に1人は「パズドラ」で遊んだことがある計算になります。

オーストラリアの人口が2,000万人ですから、オーストラリアの人々が老若男女問わず、全員遊んでいるくらいの数だと考えてみるとすごいです。さあ、このゲーム音楽家としての視点から、このゲーム音楽について、私の話を聞いていただくと、あらゆるジャンルがこれに分類されている。したがって、ひとつのジャンルにはなりえない……というのが現時点での私の結論です。つまり「ドラクエ」を知っている楽器族なら「序曲」を聞いたときに「ゲーム音楽」として認識するでしょうけれども、ゲームを知らない楽器族は単に「プラスがかっこいいマーチだな」としか思わない、そういうことです。純粋に音楽的特徴だけで、ある音列もしくはある音群が「ゲーム音楽」であり、そうでない音列もしくは音群が「非ゲーム音楽」である、という判断は誰にもできない、ということになります。

その結果「ゲーム音楽というジャンルは存在しない」という結論に至ったのです。

## 「ゲーム音楽」という ジャンルは存在しない

一体どういことなのか。  
意味わからないですね。

気になりますね。  
なりますよね。なっってください。  
ゲーム音楽って何だと思いませんか?

少し考えてみましょう。何をもってゲーム音楽と呼ぶのか。ゲーム音楽をゲーム音楽たらしめている要因は何なのか。3、2、1、はい時間切れです。いかがでしょう。考えがまとまりましたか? ゲーム音楽の定義。それは「ゲームのために作られた音楽」。

そう、ただそれだけです。それ以外の定義は恐らくありません。例えば何らかのきっかけで、本誌の《曲車》とか《こやなぎ団のテーマ》がゲームに使用されたとしましょう。それは広義にはゲーム音楽に含まれるかもしれませんが、狭義にはゲーム音楽ではないと考えます。ゲームのためではなく、本誌が別の意図をもって創作した作品だからです。「ゲームに使われた音楽」というくりにはなるでしょうけども。

昔はクラシック音楽を転用してゲームのBGMにしていることが多くありました。それも、その曲はあくまでクラシックであって、ゲーム音楽ではないわけですよ。

また、ゲーム音楽には実にさまざまな音楽が使用されています。クラシックを意識した曲から、演歌、ポップス、ロック、テクノ、ミニマル、フュージョン、ダブ、ジャズ、民族音楽に至るまで、なんでもござれの世界です。厳密に研究したわけではないのですが、恐らくゲームに使用されていないジャンルはないのではないかと思います。

ここまでくると、「ゲーム音楽というジャンルはない」という理屈が見えてきました。曲そのものがゲーム音楽であるありとあらゆるジャンルの音楽が内包されている。したがって、ひとつのジャンルにはなりえない……というのが現時点での私の結論です。つまり「ドラクエ」を知っている楽器族なら「序曲」を聞いたときに「ゲーム音楽」として認識するでしょうけれども、ゲームを知らない楽器族は単に「プラスがかっこいいマーチだな」としか思わない、そういうことです。純粋に音楽的特徴だけで、ある音列もしくはある音群が「ゲーム音楽」であり、そうでない音列もしくは音群が「非ゲーム音楽」である、という判断は誰にもできない、ということになります。

以上のことは単に状況を整理しただけ。こういった状況の中で私が提唱したいのは、以下になります。

- ゲーム音楽よ、どんなジャンルの音楽好きにも受け入れられる可能性を持っている
- 楽器が好きな楽器族のなかにもゲーム音楽が好きな人がいても不思議じゃない
- ならばゲーム音楽好きな楽器族同士、もっと仲良くしようじゃないか
- あわよくば、まだゲームをよく知らない楽器族も巻き込んでおよう

そう、私はゲームファンに限らず、もっとたくさんの人にゲーム音楽を知ってほしいと思っているのです。そして、たくさんの方がゲーム音楽を自由に気軽に利用できるような環境を整備できたらいいなとも考えています。

要するに、本誌をお借りしまして、ゲーム音楽好きな楽器族の皆さんといろいろな意見交換をしたいなと。遠慮せずにガンガン意見をください。……本音を言えば、やがて本誌をのっけたいいなあと思っております。半分冗談です(半分本気!?)。タイトルにある「宣言」とはつまり、そういうことなわけです。「ゲーム音楽好きな楽器族のための情報交換の場」として本誌を乗っ取り、やがて編集長の座を奪い取る! 編集長に、俺はなる! どうですか、チョイ悪を通り越して単なる悪人ですよ!(書いてたらだんだん気が大きくなってきました。この原稿がそのまま載ったら編集長の太っ腹に感謝です。櫻本 現(確かに太い))

「宣言」として、私の野望をかなえるため、いやいや、ゲーム音楽好きな楽器族のためのアイディアがいろいろありましたら、編集部までどんどん寄せください。なるべく、音楽雑誌「BRASS」から取り寄せるのはおのれみではないかと思えます。

そして、さらに次のミッションを遂行していきます。

本誌編集長は、まこと残念なことに完全なゲーム未経験者です。彼はファミコンの「ドラクエ4」もクリアできなかった根性無しであり、私が買った3DSの上の画面を一生懸命タッチして、動かない動かないと文句を言っているレベルであります。まず彼をこちらの軍団に巻き込まねばならない。

どうすればいいか。  
彼をどうすれば「ゲーム音楽好きな楽器族」に変身させられるか。  
みなさん、知恵を貸してください!

最初はサクソスがやりたかった

編集部 そもそもなんでトランペットを選んだのですか？

横山裕 (以下 横山) 最初は全然やる気がなかったんですよ。でも、なんか楽器をやってみないか？と言われた時、最初はサクソスがいいかな…と思ったんです。でも、実はもう他のメンバーがプライベートでサクソスやっていたので、プロデューサーのすすめでトランペットにしたんです。

YOKAN でも、実は決める前にトランペット以外にもサクソスやトロンボーンなどの管楽器を一通り全部試してみましたよね？

横山 ええ、全部吹いてみました。管楽器なんて本当に初めてだったから、全部やってみたらなにかわかるだろう…と思ったんです。とりあえずやりたかったサクソスもその時に吹いてみましたよ。とりあえず音は出ました(笑)。

編集部 トランペットは？

横山 正直、トランペットは音も何も鳴らなかった。一番、駄目でした(笑)。でも、周囲から「やりなよ」って言われて…結局もう、やることは決まっていたようなもんなんです(笑)。だから正直、最初はビビビときたとか、最初からやりたかった！とか、そういうものはナンもなかったんです。でも、最初からやるんやからサクソスもトランペットもいっしょやと思っちゃいました。

編集部 楽器を選びに行ったのはいつでしたか？

横山 今年(2013年)の2月でしたから…しかし半年で、ありがたいことですよ。こんなヒトいないんじゃないかと思えますよ、デビューが東京ドームなんて初心者(笑)。

YOKAN 東京ドームでデビューって、さすがスターだよな！(笑)。でも練習は本当にがんばりましたよね。

YOKAN 楽しかった！

編集部 どうやって練習を始めたのですか？

YOKAN 最初に初心者の練習から始めました。音出し方やアンブシュア、口の中の形や容積、独自の呼吸法や身体全体でのピポットなど。毎日のように、ここにしょっちゅう通ってきて。でもマウスピースだけからではなく、最初から楽器を付けて練習していました。

横山 マウスピースだけというのは、そういえば最初のころはやりませんでしたね。

YOKAN そうです。実はマウスピースだけを練習するのは、始めたばかりの人にはちょっと効果的ではないし、何より楽器をつけて鳴らしたほうが楽しいでしょ？

横山 YOKANさんは、楽器が楽しくなって欲しいというやり方ですから、本当にありがたかったです。

YOKAN あらためて聞くけど、どんなところで壁を感じた？

横山 思うように音が出ない、高い音がでない…日によって違うんです、上の音が出せる限界が、今ももちろんまた変わらないんですが(と、このあたりから話のあいまにマウスピースをあてては、プツと鳴らす)…逆に、壁ではなく「楽しいな」と思ったのは、音が出たとき、そして曲が吹けたとき。あと、YOKANさんの練習曲！

YOKAN 本誌で以前連載していた「YOKAN 流かんたんレシピ」のエチュードですね。

横山 ひとつの音だけを伸ばしているうちに伴奏が変化していく曲《Long "Smile" Note From Enoden》とか、おもしろかったですね。

YOKAN そうそう、2つの音で軽やかにハネて3声でハモる《Spring Has Come》や3つの音だけで演奏できる《3Notes Funk》とか。あとは《聖者の行進》をいろいろなキーで練習しましたね。

ひとりではつづけられなかったかも知れない

YOKAN 《聖者の行進》の最初はキーがCから…その後、D、F、Gなど、キーを変えて、楽譜にはもうカタカナでドミファソって書いてね(笑)それからレファ#ソラ、ファラシド、ソシドレ…って。あと、あの曲はなんだっけ(と、歌い始める)

横山 《鳩と少年》ですね。ラピユタ(注:「天空の城ラピユタ」)好きなんです。音が出るようになったら、いろいろなものが吹きたくなったんです。

YOKAN その頃、上のレの音が出てきたのでそれを最高音にしてやると好きな曲なのでやっとなら上レの音がすぐ出るようになったり…モチベーションは大事ですよ！ツアーで演奏する曲が決まってからはもう、ひたすらにその曲を練習しましたね。ここで、あるいはレコード会社のスタジオで。そうそう、レコード会社のテクニクスタッフさんも巻き込んでね、も

うみんなと一緒に一日2、3時間。横山 みんなでやれたのが良かったかも。ひとりでは続けられなかったかもしれない。

YOKAN 実はテイチクの担当スタッフさんにも今回楽器を買ってもらって、一緒に練習したんです。ちょうど横にとってはスタッフさんがライブレディであり戦友(同士?…どちらかで)みたいになったから、よかったですか…

編集部 横山さん、いまも(取材中)ずっと音を出していますね。

横山 こわいんですよ。こんなにこわかったことはない。

編集部 大きなステージ、何回も経験しているのに？

YOKAN 今まで体験したことのないキツイ状態だったと思いますよ…。普段のステージとは全然違うんです。だって、ハードに踊った直後に楽器を渡されて(注)ウォーミングアップにしてそのまま吹く。普通の人はとてもマネできないことです。

横山 何回も壁を感じました。この本

横山裕 & TRUMP

横山裕の音がほしいん  
それだけががんばってきたのだ  
…そう、メンバーに言

# ジュニアにこそ活



ロビーではジャズ教則本の老舗「エー・ティー・エヌ」が「JAZZ なんでも相談室」を開設



ミュージックストアジェイビーが展開中のJpop路線は注目の的



前田憲男氏アレンジの「ディズニー」シリーズ（東京ハッスルコピー）は人気発売の予感



演奏が終わるたびに親身の指導



かなり「上」からだけど、決して上から目線ではありません

## 今年は大学ジュニアと 小中高をわけて開催

国際ジュニアジャズオーケストラフェスティバルがその通称を「ステラジャム」という理由はさきわめて簡単。会場が、世界遺産となった雪峰富士を背後に抱く河口湖ステラシアターだからだ。夏は今や飛ぶ鳥を落とす勢いの世界的指揮者、佐渡裕氏がプロデュースする「河口湖音楽祭」にわき、秋はこの「ステラジャム」でスウィングする。関東近辺の楽器族には合宿のメッカとしておなじみの河口湖は、夏から秋にかけて大きな楽器族のためのイベントで大いに盛り上がるのだ。今年は国民文化祭の会場となったこともあり、さらにその盛り上がりは絶好調だったのだが、残念ながら例年大学ジュニアと中学高校部門を連続3日間で開催していた「ステラジャム」は、分断されることになった。大学ジュニアの部を9月10-11日の2日間、中学高校部門を10月13日のみという、間に約1カ月のインターバルをおく日程。しかも前半と後半では一部審査員を入れ替える、という「異例」の事態となった。実行委員会苦心の調整である。もちろん異論はささむものは誰もいなかった。コンテストとかコンクールとなると、眼の色を変えて「規定」だとか「公平」だとかを言いつける輩が出てくるものだが、まだ始めて間もないこの分野にはそういう「勘違いピープル」がほとんどいないのが気持ちいい。だいたい、ステラジャムは「フェスティバル」であって、コンテストではない。公平にその

突っ込んできても「お門違い」なのだが。

大事なのはそこじゃない。大人だから実行委員会側は言わないだろうけど、こちらは応援団だから言います。

この現場は、日本でほとんど唯一といっている、めくまれたジャズ教育の場なのだ。

そして、ジュニア（原則として20歳以下）の、まだジャズに親しみ始めたばかりの段階で切磋琢磨の現場を体験できる、ほとんど唯一の場所なのだ。もちろん「審査」する以上はその判定に審査員たちは自信をもっているわけだけど、参加する側は点数の上下よりももっと「音楽」そのものに意識を持っていてほしい。実行委員会側にそんな「切なる想い」があればこそ、この「ステラジャム」は演出効果抜群の「金、ゴールド」とかは一切やらないのだ。合言葉はGET BETTER（もっとよくなるろう、もしくは、もっとうまくなるろう）。

そう、ステラジャムは審査ひとつとっても明快なのが特徴だ。

審査のポイントは全部で5つ。

- サウンド
- アンサンブル
- リズム
- グルーブ感
- ソロ

それぞれを各審査員が10点満点で採点し合計を出す。複数の楽曲を演奏した場合は、点数合計を曲数で割って審査員が採点している。採点が高点と低い点にならないように、高点と低い点は採点にカットされ、より実質的に



審査員は常に4名、ということになる。だったら最初から4人でいいじゃないか...とツツコミたくなつた？よし、それじゃはっきり言わせてもらう。審査員が何点つけたからグランプリになったとか、落ちたとか、その程度のことでは盛り上がりたいたいのなら、ほかのコンテストに専心したほうがいい。そういうところから審査されて、それをありとなくくうけとる程度の輩で満載だから、このステラジャムの主役は、審査員ではない。参加する側こそ

ス  
全40楽器族！



東京都立葛飾総合高等学校 吹奏楽部



暁星国際学園中学高等学校  
GYOSEI INTERNATIONAL JAZZ



名古屋小中学生ビッグバンド  
Little Hills Jazz Orchestra



横浜市立笹下中学校 SASAGE JAZZ  
ENSEMBLE ORCHESTRA



帝京高等学校  
Swinging Honey Bees



穎明館中学高等学校  
EME JAZZ ORCHESTRA



Little Cherries 2013



名古屋高校生ビッグバンド  
Free Hills Jazz Orchestra



史上初!?

# 200人でジヤム

## ～ジャズ&ポップス限定型ブ

誰もが、うまくいくのかどうか内心、不安だった。

2013年11月24日、その日には大阪で第26回全日本マーチングコンテスト全国大会のその約ひと月前には、別のジャズジャンボリーがある。果たして何人が集まるのだろうか。ジャンボリー2013@大阪西区民センターはここで始まる。「ジャズ&ポップス限定型ブ

多数の楽器族がその日に集まり、日に練習してその「本番」(とて、最後に全(だけ)をその日に解散。楽器族集会以合奏の喜びを味わう。アマチュア楽器族が自主的に行うものと区別するためにこの名称が考案された。どんな名称にせよ、また、主催者が誰であれ、

同じようなフリー参加演奏大会。う毎日では、楽ほうもびれる。ネリ化は。られな。ここで実行委員会は、今の「ジャズ&ポップス」することを思いついた。そして、さほどたくさん曲をやらなくてもいいのでは、ということも粗上に上った。そして決定したのは5曲。オープニングと司会・こやなぎ京の紹介をか

ねた《Avail》ジャズ&ポップスといえは定番の《》。ブ、そして、オリンピセカンドライン》。ジャズ&ポップスに特化し、さらに曲数がわずかに5曲。そしてそのうちの1曲は、ただ楽譜を読んで吹いていればいい、というのではない。これほど初めてづくしの「ジャズ&ポップス限定型ブ」は、不安にならないほうがどうかしてい



ジャズ&ポップスの決め手は、リズム隊



チューバとエレキベース掛け持ち!



はるか静岡から5時間あまりかけてやってきたドラマーたち



受付開始前に細密な打ち合わせをするCWEの皆さん



ざっくり椅子を並べてみる



開場20分後にはこんな感じ



その頃、合同演奏クイーン「こやなぎ京」ほかゲストは真剣に打ち合わせ